

[illegible]

4-4

外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

○ 仕上塗材仕上げ

新規仕上塗材の種類
・薄付け仕上塗材

種類	呼び名	仕上の形状	工法	調湿形	防火材料
○ 外装薄塗材E	・	・砂壁状	・吹付け ・ローテ塗り	・適用する	・
・可とう形外装薄塗材E	・	・砂壁状	・吹付け ・	・適用する	・
・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状	・吹付け ・ローテ塗り	・適用する	・
・内装薄塗材	・	・砂壁状じゅらく	・吹付け ・	・適用する	・
・	・	・	・	・適用する	・

・厚付け仕上塗材

種類	呼び名	仕上の形状	工法	調湿形	上塗材	防火材料
・	・	・	・	・適用する	・適用する	・
・	・	・	・	・適用する	・	・

・複層仕上塗材

種類	呼び名	仕上の形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
○ 複層塗材E	・	・凸部処理	吹付け	樹脂 ・ ・外観 ・ ・溶媒 ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
・	・	・凹凸状	吹付け	・	・	・
・	・	・ゆず肌状	ローテ塗り	・	・	・
・	・	・凸部処理	吹付け	・	・	・
・	・	・凹凸状	吹付け	・	・	・
・	・	・ゆず肌状	ローテ塗り	・	・	・
・	・	・凸部処理	吹付け	・	・	・
・	・	・凹凸状	吹付け	・	・	・
・	・	・ゆず肌状	ローテ塗り	・	・	・

・可とう形改修用仕上塗材

種類	呼び名	仕上の形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・	・	・	・	樹脂 ・ ・外観 ・ ・溶媒 ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
・	・	・	・	・	・	・

○可とう形改修塗材RE（厚付け）+超耐候性水性弾性ハイブリッドシリコン樹脂塗料
○水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材
○セラミックシリコン樹脂系仕上塗材

・ マスチック塗材塗り

・ 外壁用塗膜防水材塗り

○ 見本の製作等

建具見本の製作
・行う（建具符号： ）
○行わない
建具見本製作の目的等
・
特殊な建具の仮組
・行う（建具符号： ）
○行わない

○ 防犯建物部品

○ アルミニウム製建具

性能値等
耐風圧性の等級（○S-5 ）
（建具符号 ○建具表による ・ ）
気密性の等級（○A-3 ）
（建具符号 ○建具表による ・ ）
水密性の等級（○W-4 ）
（建具符号 ○建具表による ・ ）
外部に面する建具の種類
○A種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
・B種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
・C種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
枠の見込み寸法
○建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別
・BB-1 ○BB-2（改修標準仕様書表5.2.2）
着色
○標準色 ・特注色
屋内の建具
種別
・BC-1 ・BC-2（改修標準仕様書表5.2.2）
着色
・標準色 ・特注色
結露水の処理方法
・水貯め式 ○排水式
工法
水切り板、ぜん板
※図示による ・

○ 網戸等

・ 樹脂製建具

性能値等
耐風圧性の等級（ ）
気密性の等級（ ）
水密性の等級（ ）
外部に面する建具の種類
・A種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
・B種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
・C種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
・
枠の見込み寸法
・建具表による
・
材料
ガラス
※複層ガラス
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面色
・標準色 ・特注色
工法
水切り板、ぜん板
※図示による ・

○ 鋼製建具

性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
○適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（○S-5 ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※改修標準仕様書表5.4.2による
・ mm 使用箇所（ ）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による
・
○ 鋼製軽量建具
性能値等
簡易気密型ドアセット
○適用する
（建具符号： ○建具表による ・ ）
・適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
材料
鋼板
○亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・
召合わせ、縦小口包み板の材質
※鋼板
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※改修標準仕様書表5.5.1による
・ mm 使用箇所（ ）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
※建具表による
・
・ ステンレス製建具
性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※HL
・鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※普通曲げ
・角出し曲げ

・ 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率
（5.7.2～4）
※A種 ・
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※改修標準仕様書5.7.2(2)(i)(a)による
・
表面材の合板の種類
合板の種類 表面の樹種 規格等 備考
・ 普通合板G 板面の品質（※広葉樹1等 ・ ）
接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ）
・ 天然木化粧合板G 樹種名（ ）
接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ）
化粧加工の方法
※プリント
・ポリエステル化粧合板
・メラミン化粧合板
・
接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ）
・ MDFG
表面板の厚さ
※改修標準仕様書表5.7.6iによる
・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない ・適用する
・かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法
※36mm ・建具表による ・
・ふすま
張りの種別（ ・ I型 ・ II型）
上張り（押入等の裏側以外）
・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法
※19.5mm ・建具表による ・
・戸ふすま
表面板の仕上 ・建具表による
見込み寸法
※30mm ・建具表による ・
・紙張り障子
見込み寸法
※30mm ・建具表による ・
枠、くつずりの材料
・建具表による ・
○ 建具用金物
金物の種類及び見え掛り部の材質等
※改修標準仕様書表5.8.1iにより適用は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.2iによる
・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.3iによる
・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.4iによる
・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※改修標準仕様書表5.8.5iによる
・建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
○建具表による
・
○錠前類
※シンダ箱錠及びシンダ本締まり錠
マスターキー
○製作する
・製作しない
・既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数
※各室3本1組（室名札付き）
・
鍵箱
・無し ○有り

5

建具改修工事

○ 改修工法

性能値等
（5.1.3）
建具の種類 かぶせ工法 撤去工法 適用箇所
○アルミニウム製建具 ・ ○建具表による
・樹脂製建具 ・ ・ 建具表による
○鋼製建具 ○外部 ・ ・ ○建具表による
・内部 ・ ・ 建具表による
○鋼製軽量建具 ・ ○ ○建具表による
・ステンレス製建具 ・ ・ 建具表による
・木製建具 ・ ・ 建具表による
新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方
※図示による ・
新規建具周囲の補修工法及び範囲
※図示による ・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。
・ 防火戸
・指定する 適用箇所（ ・ 建具表による ・ ）
・指定しない
防火戸の自動開鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・連動させる 適用箇所（ ・ 建具表による ・ ）
・連動させない

（参考図）

設計年月
令和7年6月

奈良国立大学機構 機構施設課
工事名称
担当
奈良女子大学（北魚屋）総合研究棟（理学系A棟）改修工事

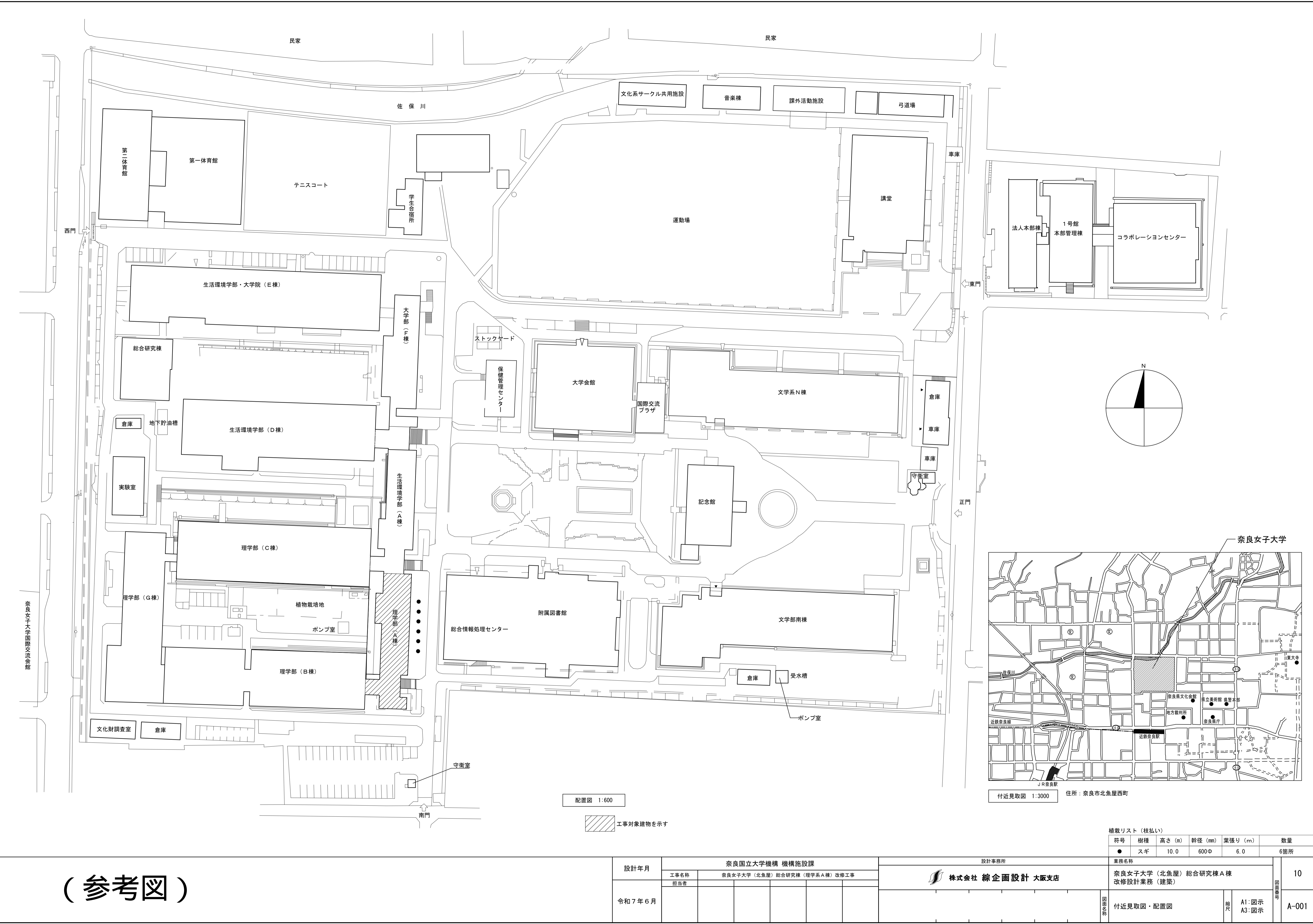
設計事務所
株式会社 綜企画設計 大阪支店
業務名称
奈良女子大学（北魚屋）総合研究棟A棟
改修設計業務（建築）
図面番号
建築改修工事特記仕様書(4)
縮尺
—

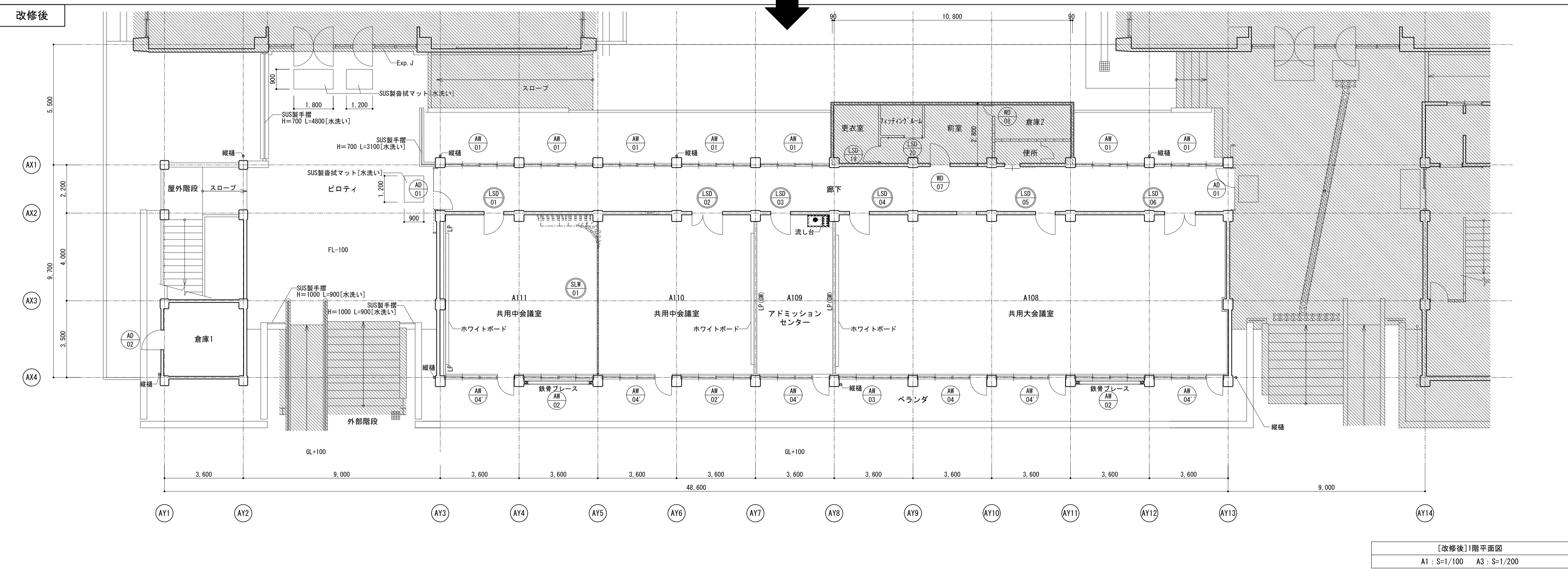
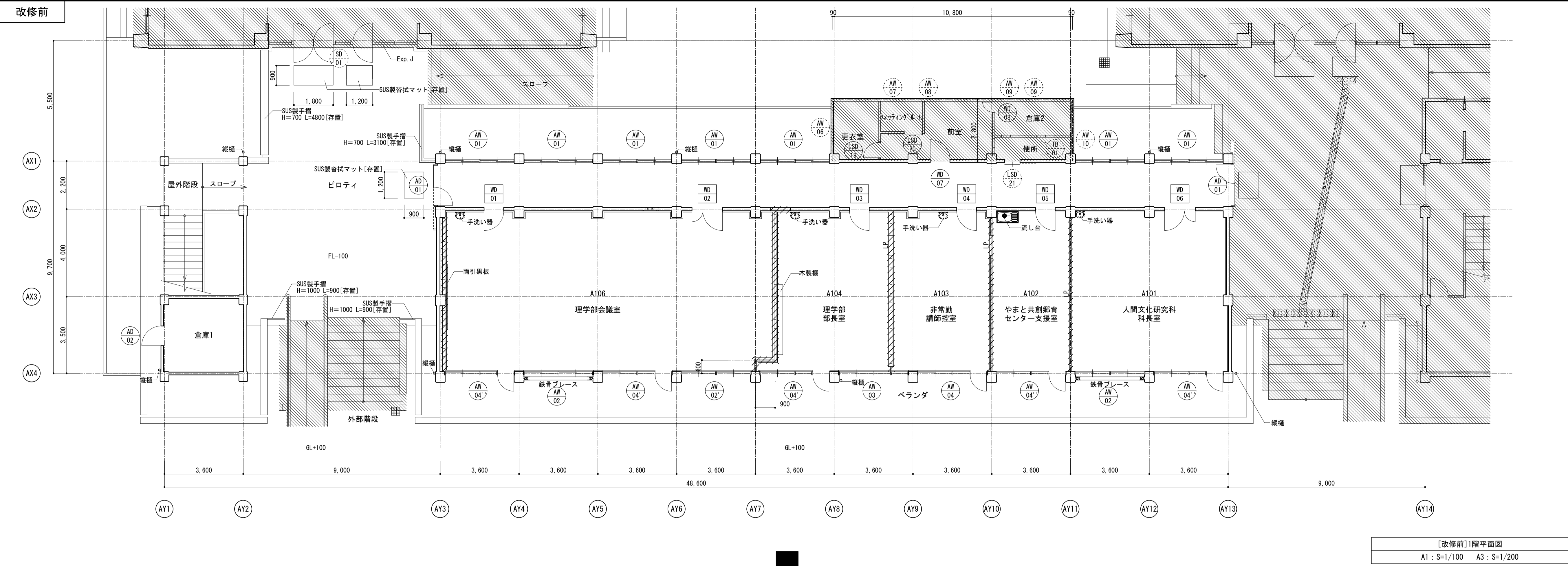
5
特A-004

⑤ 建具改修工事	○ 自動ドア開閉装置	戸の開閉方式 ・ 建具表による ○引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.1による（防錆・適用する・適用しない） ・以下による 種類・開閉方式（ ） 耐電圧（ ） 温度上昇（ ） 耐久性（サイクル）（ ） 防錆（ ） 電源（ ） ・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.2による（防錆・適用する・適用しない） ・以下による 耐電圧（ ） 温度上昇（ ） 耐久性（サイクル）（ ） 防錆（ ） 電源（ ） ○引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.3による（防錆・適用する・適用しない） ・以下による 耐電圧（ ） 防錆（ ） 防滴（ ） 電源（ ） 引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ○建具表による ・ タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房スイッチの種類 ・大型押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 凍結防止措置 ・行う・行わない	[5.9.2、3]
	・ 自閉式上吊り引戸装置	性能値等 ※改修標準仕様書表5.10.1による ・以下による 手動開き力（ ） 手動閉じ力（ ） 閉じ速度の調整（ ） 制動区間（ ） 開閉繰返し（ ） 耐衝撃性（ ）	[5.10.3]
	・ 重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 1章 適用区分による風圧力（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法 開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 ※設ける（設置箇所・建具表による・ ） ・設けない（設置箇所・建具表による・ ） 電動式シャッターの障害物感知装置 ※設ける（設置箇所・建具表による・ ） ・設けない（設置箇所・建具表による・ ） 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 ※設ける（設置箇所・建具表による・ ） ・設けない（設置箇所・建具表による・ ） 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1	[5.11.2、3]
	・ 軽量シャッター	開閉方式の種類 ※手動式 ・上部電動式（手動併用） 耐風圧強度 1章 適用区分による風圧力（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 ※設ける（設置箇所・建具表による・ ） ・設けない（設置箇所・建具表による・ ） スラットの材質の種類 ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（※Z06又はF06・ ） ・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（※AZ90・ ）	[5.12.2～4]
⑥ 内装改修工事	○ 改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示による 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・ 図示による	[6.1.3]
	○ 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ（接着剤とも） ・ 下地モルタルとも（・ 図示による・ 除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、改修標準仕様書4章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※図示による○改修範囲すべて	[6.2.2]
	○ 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り （全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による） ・	[6.3.2]
	○ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (㊴) (㊵) による・	[6.5.2]
	○ 製材 ㊿	・ JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 [6.5.2] 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級・ ※A種・B種・ ※2級・ ※A種・B種・ ※2級・ ※A種・B種・	
		○JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 見え掛り面・ ※上小節・ ※A種・B種・ 見え掛り面・ ※小節以上・ ※A種・B種・ 以外・ ・ JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※1等・ ※10%以下・ A種・B種・ ※1等・ ※10%以下・ A種・B種・ ※1等・ ※10%以下・ A種・B種・	
⑦ 造作用集成材 ㊿	○ 造作用集成材 ㊿	・ JAS 1083（製材）以外の製材 施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 （ ） 造作材の場合（※A種・B種） ・適用する・適用しない ※A種・B種・ （ ） 造作材の場合（※A種・B種） ・適用する・適用しない ※A種・B種・ （ ） 造作材の場合（※A種・B種） ・適用する・適用しない ※A種・B種・ ○「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6.5.2] 施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 間伐材等の適用 ※1等・2等・ ※1等・2等・ ※1等・2等・ ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 間伐材等の適用 化粧薄板： 芯材： 化粧薄板： 芯材： 化粧薄板： 芯材： ※1等・2等・ ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 化粧薄板： 芯材： 化粧薄板： 芯材： 化粧薄板： 芯材： ※15%以下・ ※15%以下・ ※15%以下・ ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 化粧薄板： 芯材： 化粧薄板： 芯材： 化粧薄板： 芯材： ※15%以下・ ※15%以下・ ※15%以下・ ・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2] 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 防虫処理 間伐材等の適用 ・適用する・適用しない ・ JAS 0701以外の造作用単板積層材 施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 含水率 防虫処理 間伐材等の適用 ※14%以下・ ・適用する・適用しない ・ JAS 3079に基づく直交集成板 施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm) 間伐材等の適用 ・ ・ ・ ・「合板の日本農林規格」による普通合板 ㊿ [6.5.2] 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等の適用 広葉樹 ※2等以上 ・1等針葉樹 ※C-D以上・ ・適用する・適用しない ・ ・「合板の日本農林規格」による構造用合板 ㊿ [6.5.2] 施工箇所 品名 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ (mm) 防虫処理 保存処理 強度等級 間伐材等の適用 ・ ※2級以上・1級・ ※1類・特類・ ※C-D以上・ ※12・ ・適用する・適用しない ・ ・	
	・ 造作用単板積層材 ㊿	・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2] 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 防虫処理 間伐材等の適用 ・適用する・適用しない ・ JAS 0701以外の造作用単板積層材 施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 含水率 防虫処理 間伐材等の適用 ※14%以下・ ・適用する・適用しない ・ JAS 3079に基づく直交集成板 施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm) 間伐材等の適用 ・ ・ ・ ・「合板の日本農林規格」による普通合板 ㊿ [6.5.2] 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等の適用 広葉樹 ※2等以上 ・1等針葉樹 ※C-D以上・ ・適用する・適用しない ・ ・「合板の日本農林規格」による構造用合板 ㊿ [6.5.2] 施工箇所 品名 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ (mm) 防虫処理 保存処理 強度等級 間伐材等の適用 ・ ※2級以上・1級・ ※1類・特類・ ※C-D以上・ ※12・ ・適用する・適用しない ・ ・	
	・ 合板等	・「合板の日本農林規格」による普通合板 ㊿ [6.5.2] 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等の適用 広葉樹 ※2等以上 ・1等針葉樹 ※C-D以上・ ・適用する・適用しない ・ ・「合板の日本農林規格」による構造用合板 ㊿ [6.5.2] 施工箇所 品名 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ (mm) 防虫処理 保存処理 強度等級 間伐材等の適用 ・ ※2級以上・1級・ ※1類・特類・ ※C-D以上・ ※12・ ・適用する・適用しない ・ ・	

（参考図）

設計年月	奈良国立大学機構 機構施設課					設計事務所					業務名称				図面番号	6	
	工事名称	奈良女子大学（北魚屋）総合研究棟（理工学系A棟）改修工事				 株式会社 綜企画設計 大阪支店					奈良女子大学（北魚屋）総合研究棟A棟改修設計業務（建築）						
	担当者																
令和6年7月													図面名称	建築改修工事特記仕様書(5)	縮尺	-	特A-005

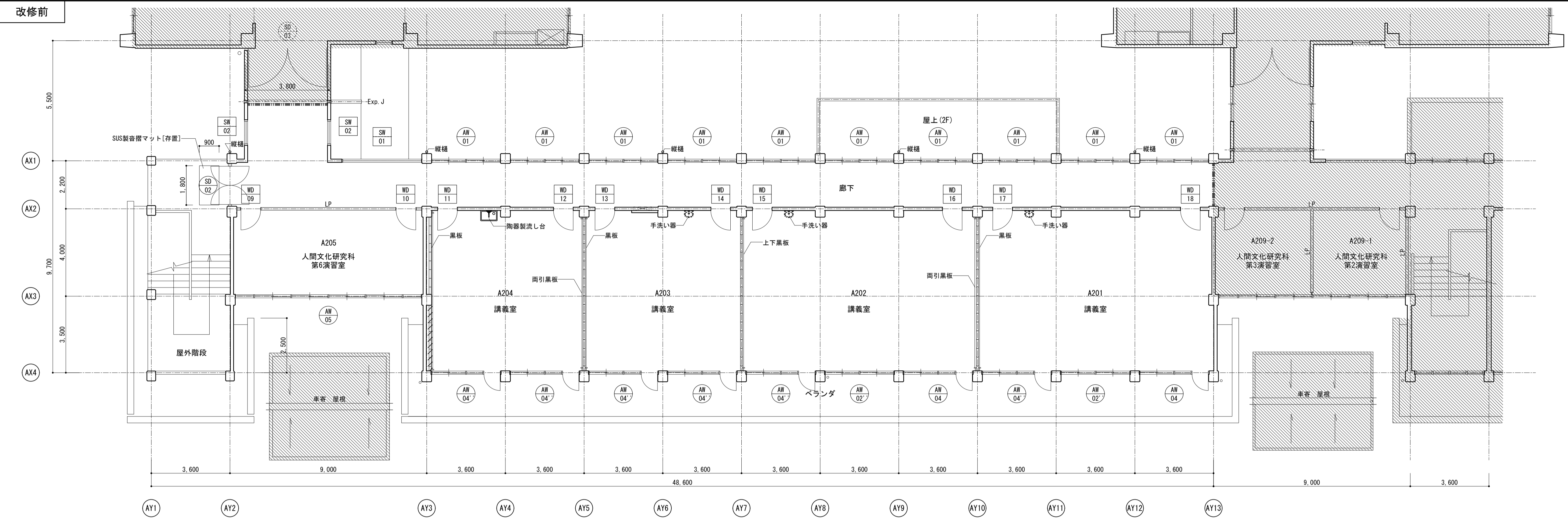




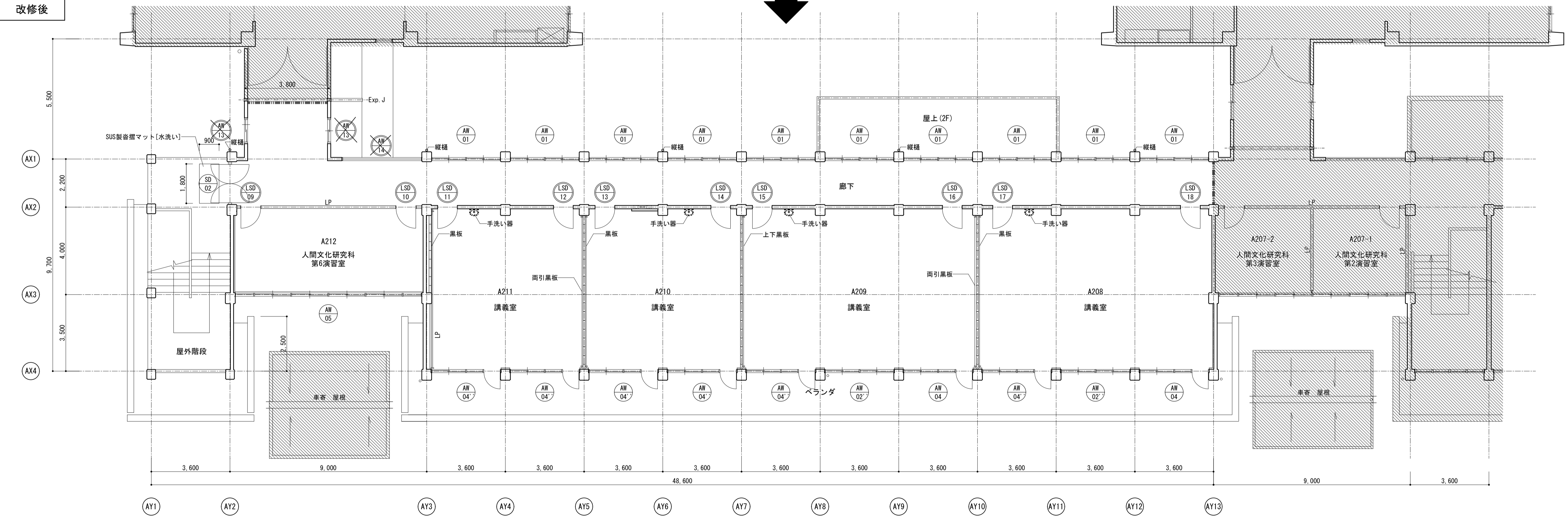
凡例	
	存置建具を示す
	改修建具を示す
	撤去建具を示す
	新設建具を示す
	鉄筋コンクリート壁を示す
	コンクリートブロック壁を示す
	軽量鉄骨下地間仕切り壁を示す
	撤去壁を示す
	改修範囲外を示す

(参考図)

設計年月	奈良国立大学機構 機構施設課					設計事務所		業務名称			図面番号	14
	工事名称	奈良女子大学（北魚屋）総合研究棟（理学系A棟）改修工事					株式会社 総企画設計 大阪支店	奈良女子大学（北魚屋）総合研究棟A棟 改修設計業務（建築）				
令和7年6月	担当者								図面名称	[改修前・後]1階平面図	縮尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200



[改修前]2階平面図
A1 : S=1/100 A3 : S=1/200

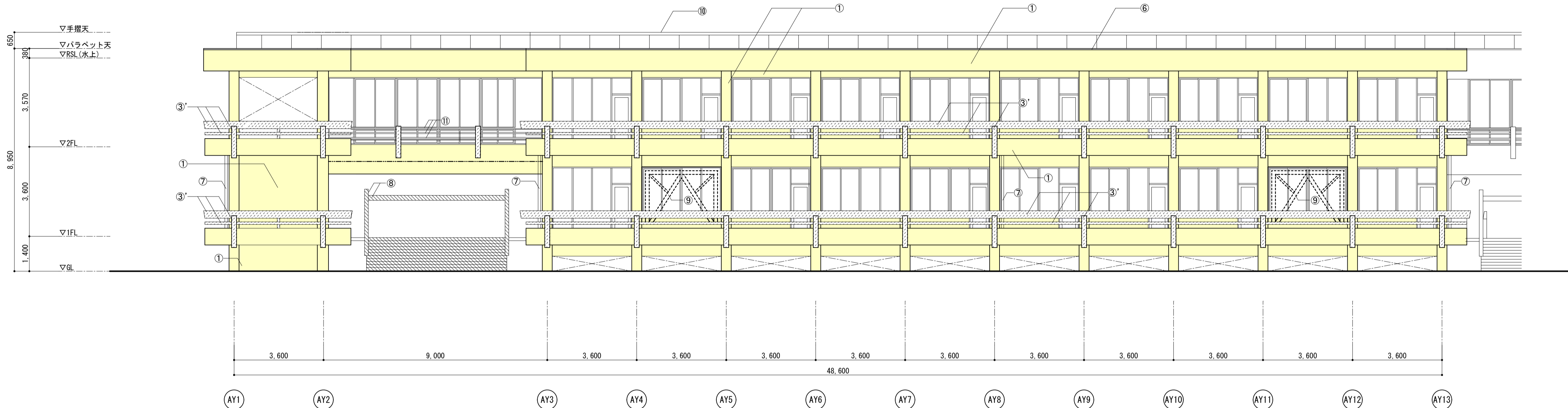


[改修後]2階平面図
A1 : S=1/100 A3 : S=1/200

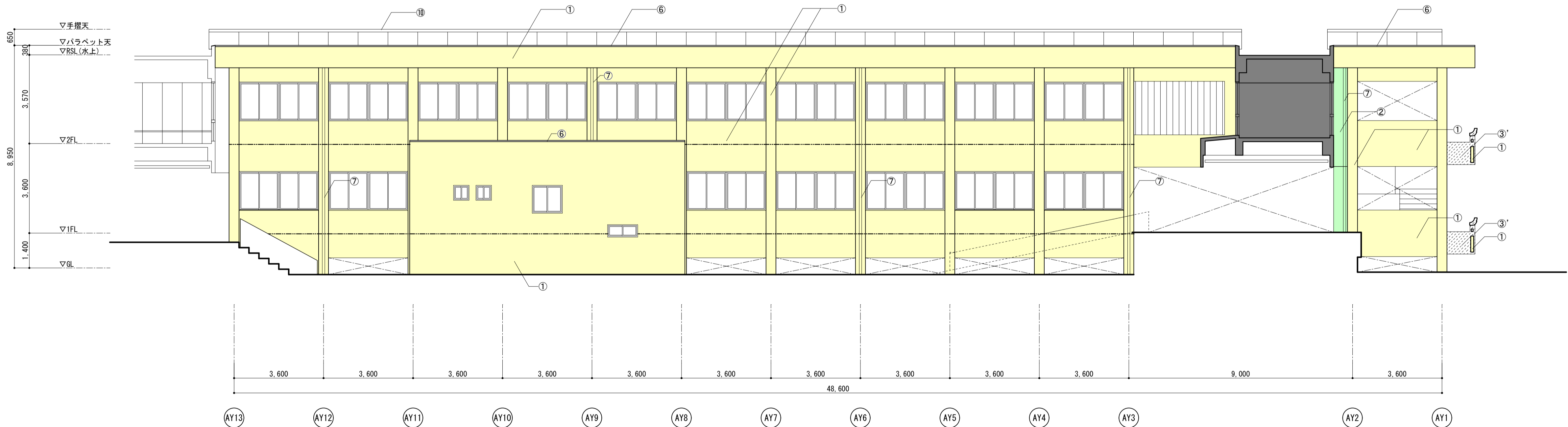
凡例	
	存置建具を示す
	改修建具を示す
	撤去建具を示す
	新設建具を示す
	鉄筋コンクリート壁を示す
	コンクリートブロック壁を示す
	軽量鉄骨下地間仕切り壁を示す
	撤去壁を示す
	内部仮設間仕切り壁を示す

(参考図)

設計年月	奈良国立大学機構 機構施設課					設計事務所				業務名称			図面番号	15
	工事名称	奈良女子大学（北魚屋）総合研究棟（理学系A棟）改修工事				株式会社 総企画設計 大阪支店				奈良女子大学（北魚屋）総合研究棟A棟 改修設計業務（建築）				
令和7年6月	担当者									図面名称	縮尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200	A-006	
										[改修前・後]2階平面図				



[改修前・後]A棟 東立面図
A1 : S=1/100 A3 : S=1/200



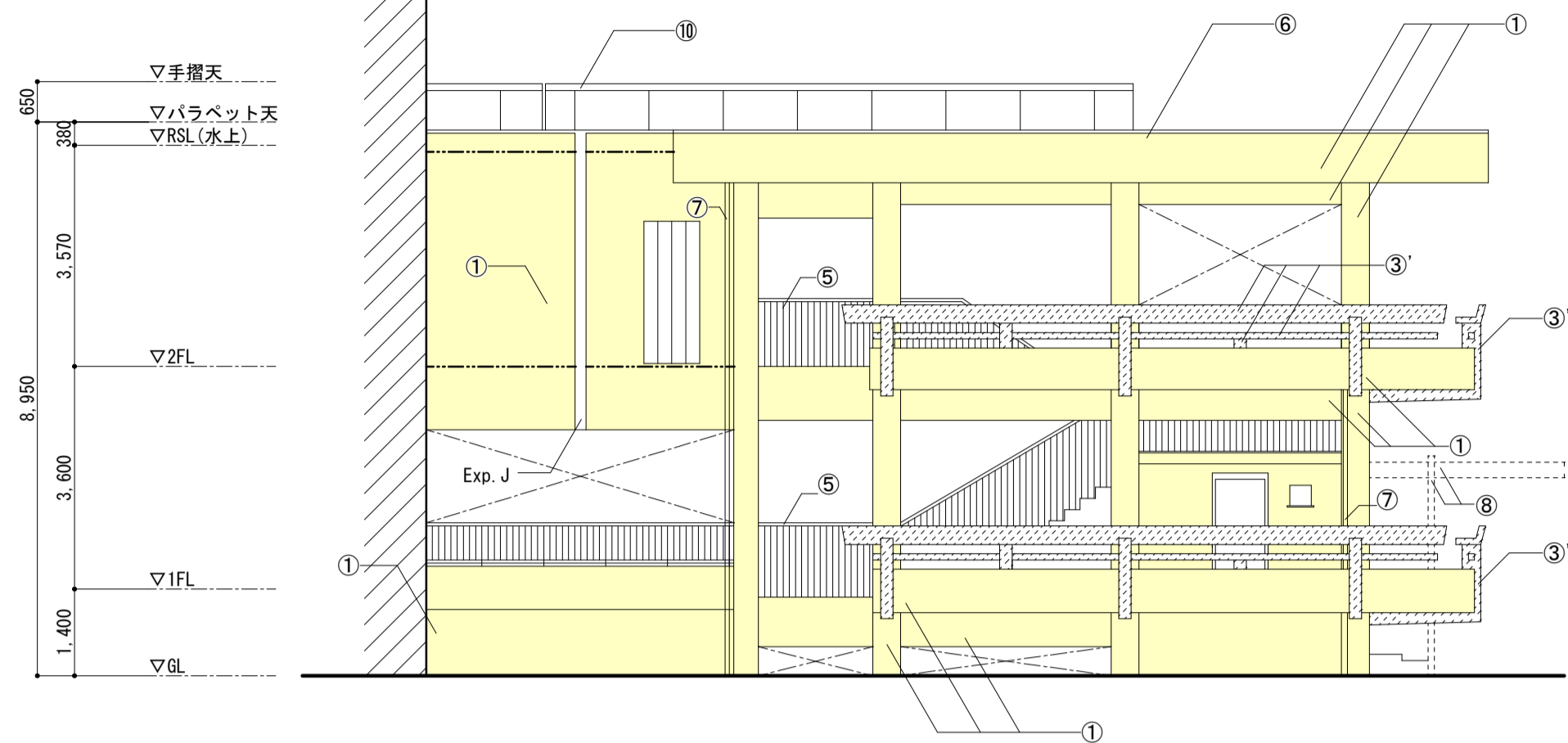
[改修前・後]A棟 西立面図
A1 : S=1/100 A3 : S=1/200

凡例	
①	45ニ丁掛けモザイクタイル 改修前：部分アンカービニング 改修後：全面水洗い
②	ニ丁掛けタイル 改修前：部分アンカービニング 改修後：全面水洗い
③	複層塗材E 劣化部の既存塗膜除去・吹付部の10%程度 全面水洗いの上、外装仕上塗材1
④	複層塗材E 劣化部の既存塗膜除去・吹付部の10%程度 全面水洗いの上、可とう形改修塗材RE
⑤	外装薄塗材E 劣化部の既存塗膜除去・吹付部の10%程度 全面水洗いの上、外装仕上塗材2
⑥	鋼製階段手摺 下地調整の上、DP塗替
⑦	アルミ製笠木 水洗い
⑧	縦樋：VP100、取付金物#1000共 美装
⑨	玄関庇・H鋼柱 存置
⑩	鉄骨ブレース 下地調整の上、DP塗替
⑪	鋼製屋上手摺 下地調整の上、DP塗替
⑫	鋼製窓手摺 下地調整の上、DP塗替
⑬	外壁シーリング (PS-Z) 10x20 既存撤去の上、再充填
⑭	改修範囲外を示す
特記事項 露防部分は錆除去の上、防錆塗装・樹脂モルタル補修を行うこと	
複層塗材の劣化部除去範囲は、模様復旧を行うこと	
部分アンカービニングは100㎡とし、全面打診調査を実施の上、施工範囲は監督職員と協議すること	

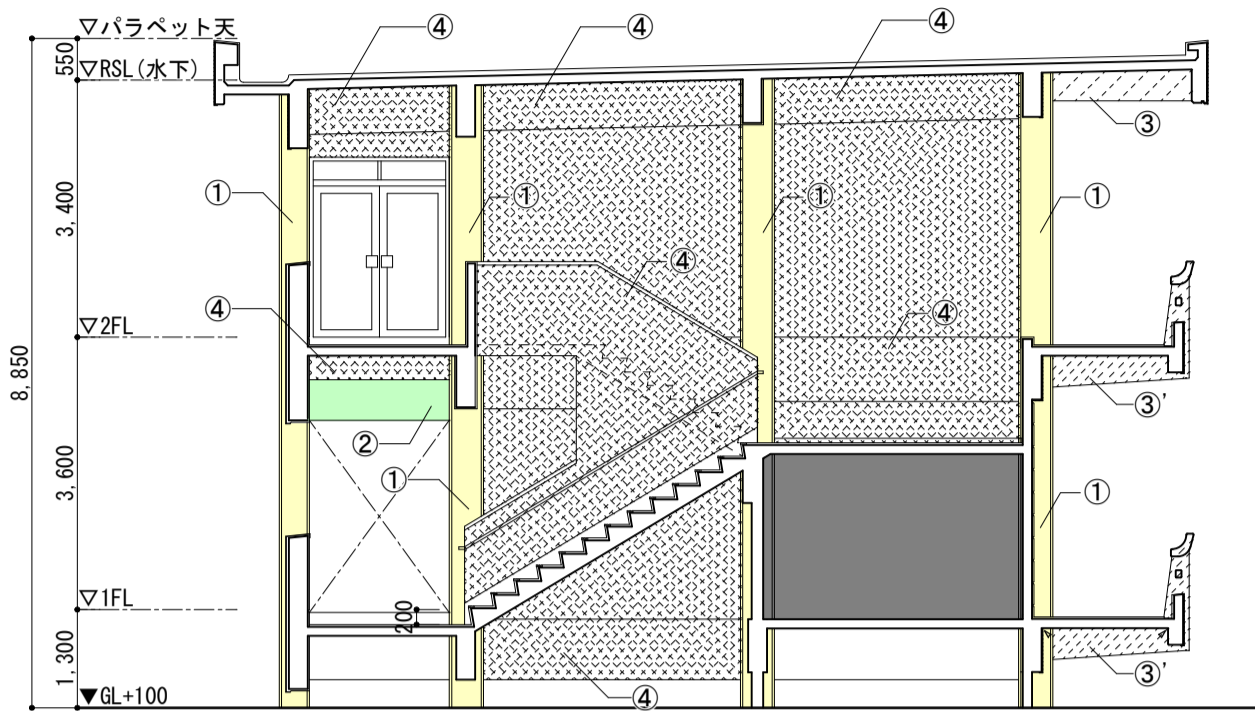
(参考図)

設計年月	奈良国立大学機構 機構施設課					設計事務所		業務名称			図面番号	17
	工事名称	奈良女子大学（北魚屋）総合研究棟（理学系A棟）改修工事				 株式会社 総企画設計 大阪支店	奈良女子大学（北魚屋）総合研究棟A棟 改修設計業務（建築）					
令和7年6月	担当者								図面名称	[改修前・後]立面図(1)	縮尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200

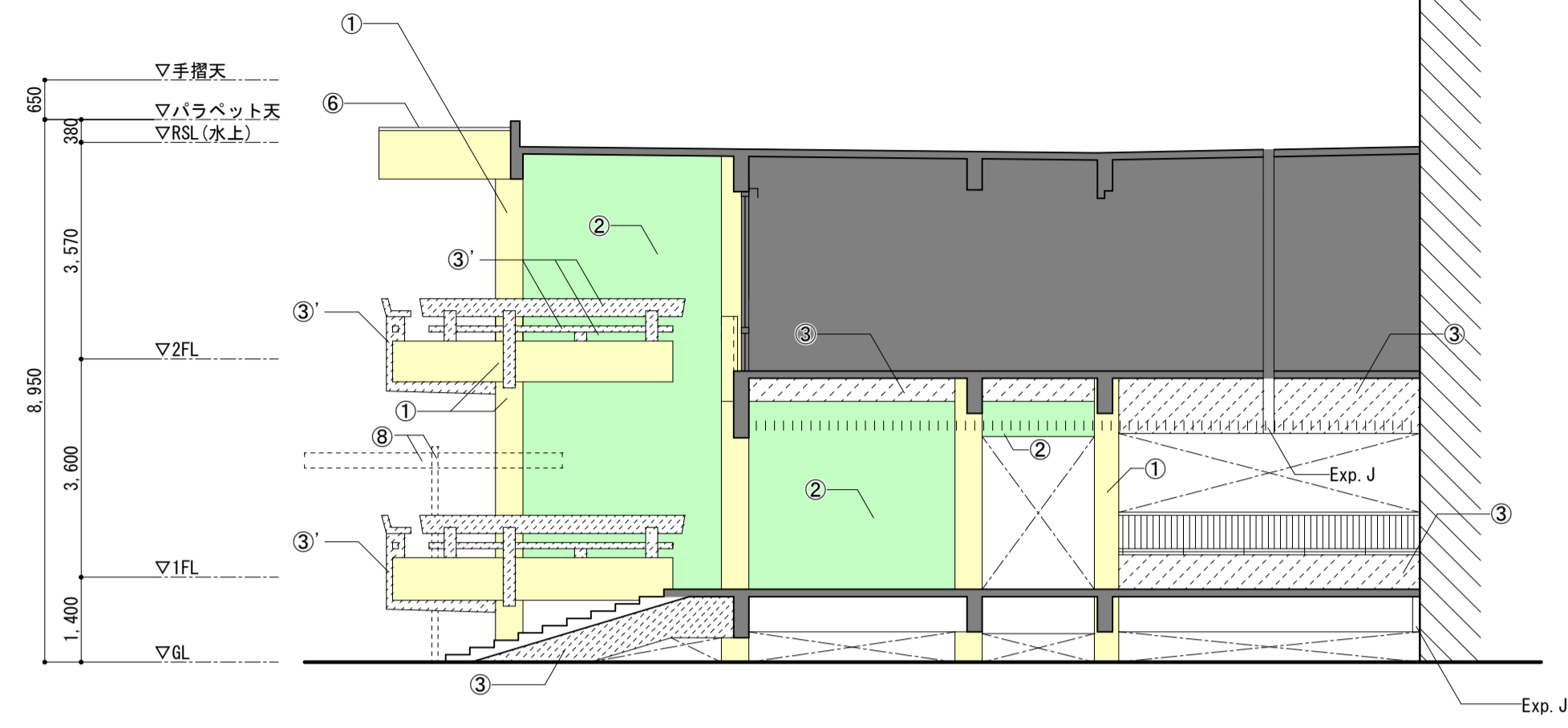
改修前・後



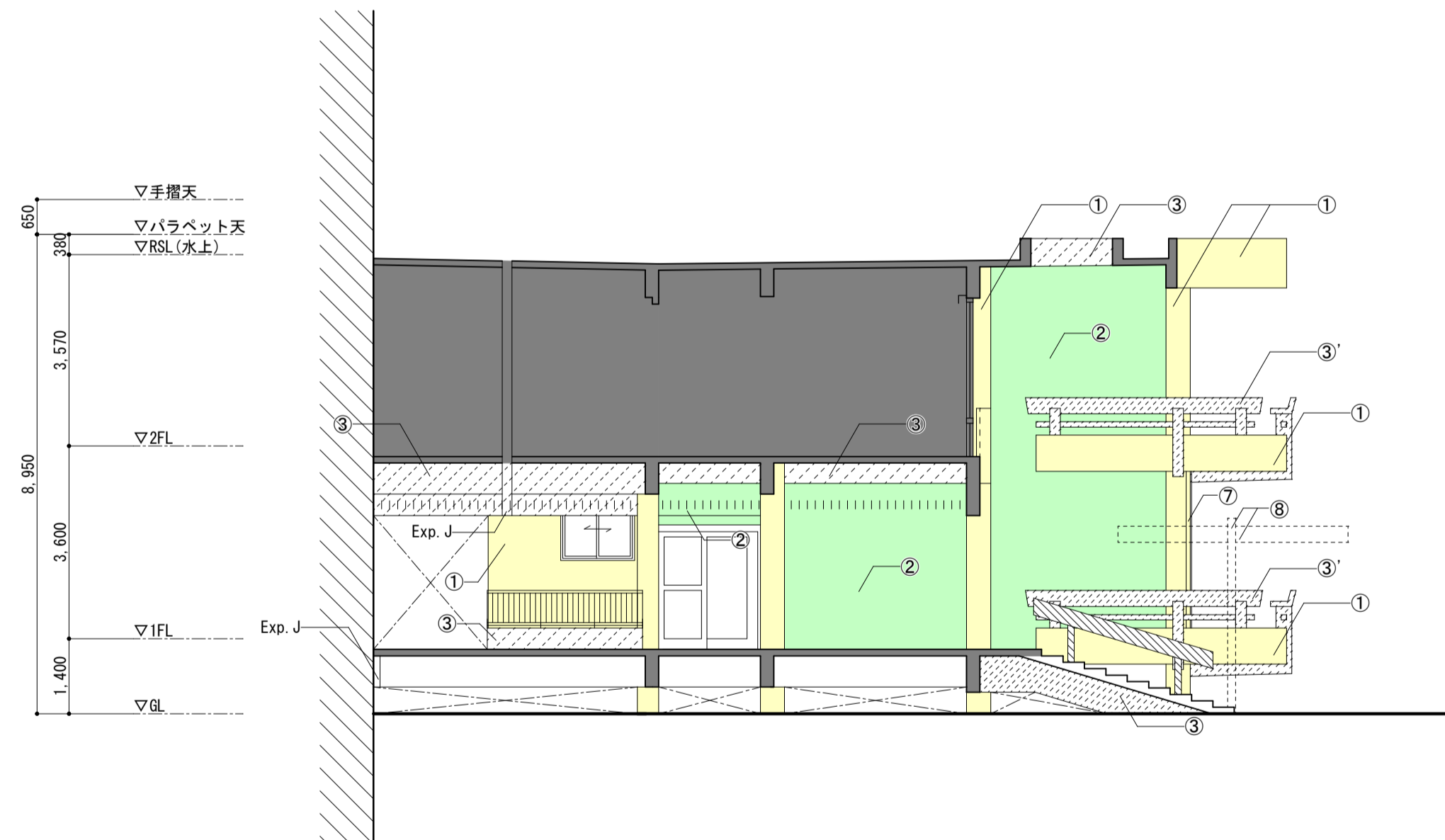
[改修前・後]A棟 南立面図
A1 : S=1/100 A3 : S=1/200



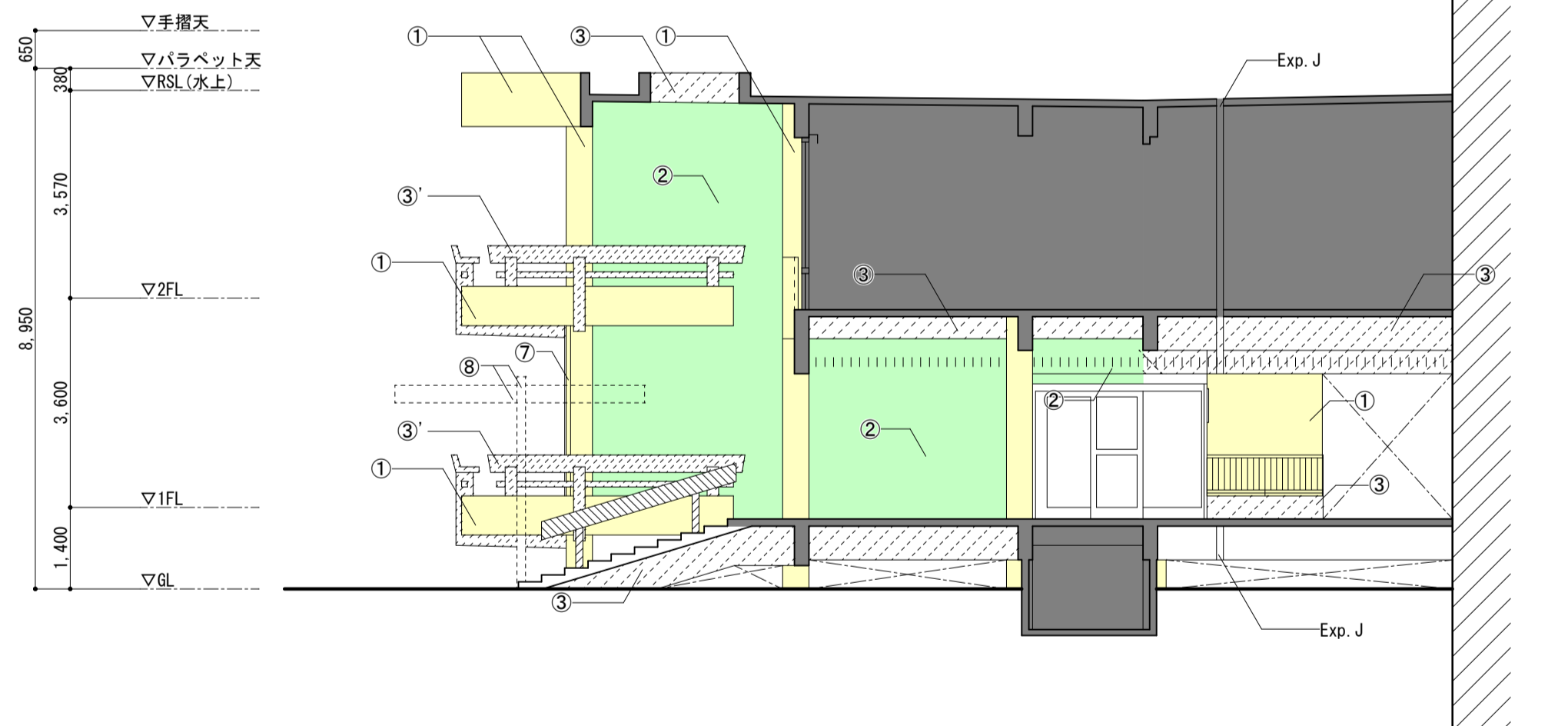
[改修前・後]A棟AY1-2間 南立面図
A1 : S=1/100 A3 : S=1/200



[改修前・後]A棟AY2-3間 北立面図
A3 : S=1/200 A1 : S=1/100



[改修前・後]A棟AY2-3間 南立面図
A3 : S=1/200 A1 : S=1/100



[改修前・後]A棟AY13-14間 北立面図
A1 : S=1/100 A3 : S=1/200

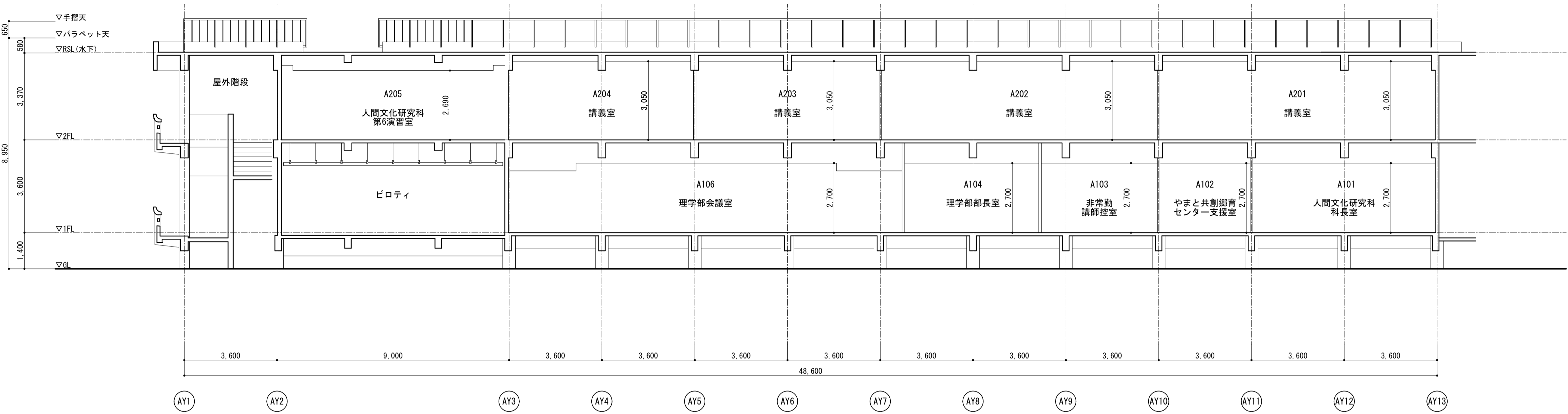
凡例	
①	45二丁掛けモザイクタイル 改修前：部分アンカーピーニング 改修後：全面水洗い
②	二丁掛けタイル 改修前：部分アンカーピーニング 改修後：全面水洗い
③	複層塗材E 劣化部の既存塗膜除去・吹付部の10%程度 全面水洗いの上、外装仕上塗材1
③	複層塗材E 劣化部の既存塗膜除去・吹付部の10%程度 全面水洗いの上、可とう形改修塗材RE
④	外装薄塗材E 劣化部の既存塗膜除去・吹付部の10%程度 全面水洗いの上、外装仕上塗材2
⑤	鋼製階段手摺 下地調整の上、DP塗替
⑥	パラベット笠木 水洗い
⑦	縦樋：VP100、取付金物#1000共 美装
⑧	玄関庇・H鋼柱 存置
⑨	鉄骨耐震ブレース 下地調整の上、DP塗替
⑩	鋼製屋上手摺 下地調整の上、DP塗替
⑪	鋼製窓手摺 下地調整の上、DP塗替
	外壁シーリング(PS-Z) 10x20 既存撤去の上、再充填
	改修範囲外を示す

特記事項
露筋部分は錆除去の上、防錆塗装・樹脂モルタル補修を行うこと
複層塗材の劣化部除去範囲は、模様復旧を行うこと
部分アンカーピーニングは100㎡とし、全面打診調査を実施の上、施工範囲は監督職員と協議すること

(参考図)

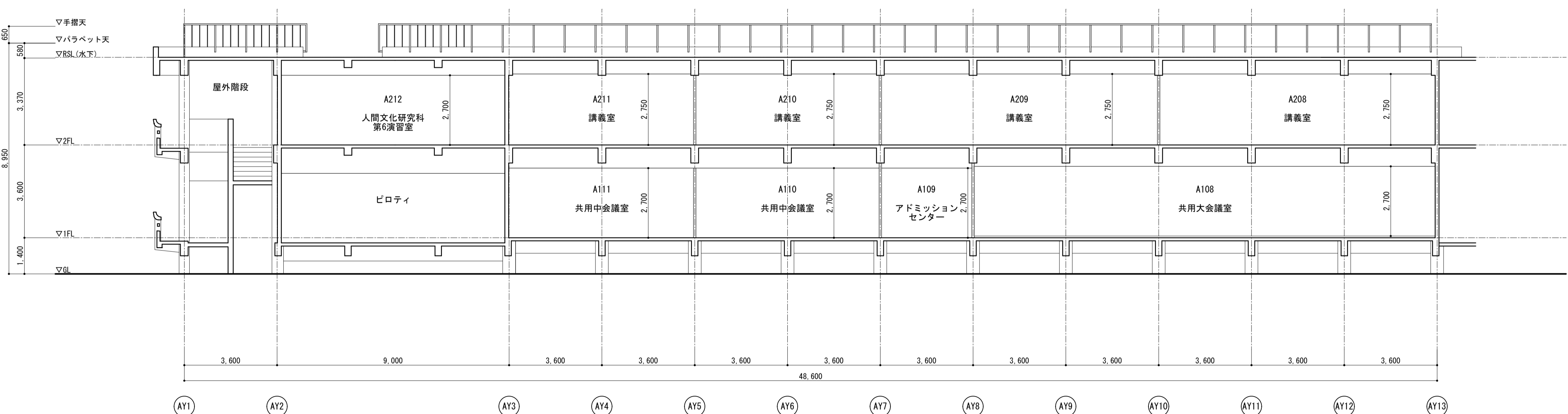
設計年月	奈良国立大学機構 機構施設課					設計事務所		業務名称			図面番号	18
	工事名称	奈良女子大学（北魚屋）総合研究棟（理学系A棟）改修工事				 株式会社 総企画設計 大阪支店	奈良女子大学（北魚屋）総合研究棟 A 棟 改修設計業務（建築）					
令和 7 年 6 月	担当者								図面名称	[改修前・後]立面図(2)	縮尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200

改修前



[改修前]A棟 断面図
A1 : S=1/100 A3 : S=1/200

改修後



[改修後]A棟 断面図
A1 : S=1/100 A3 : S=1/200

(参考図)